

等積中心アファイン閉曲線 のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

関西大学システム理工学部数学科

2020年1月24日(金)

南あわじ市阿那賀地区公民館, 淡路島幾何学研究集会 2020
(黒瀬俊氏 (関西学院大学), 森吉仁志氏 (名古屋大学) との共同研究)

内容

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン曲線

円周の微分同
相群の作用

変換則と同変
射影

- 1 序
- 2 等積中心アファイン曲線
- 3 円周の微分同相群の作用
- 4 変換則と同変射影

背景と主結果

等積中心アファ
イン閉曲線
のなす空間の
間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファ
イン閉曲線

円周の微分同
相群の作用

変換則と同変
射影

- 等積中心アファイン平面閉曲線のなす空間
 - 円周の微分同相群が作用する
 - 更に Virasoro-Bott 群が作用する
 - 上の空間は Virasoro 代数の双対の余随伴軌道とみなせる
 - シンプレクティック幾何的な性質を調べることができる
- 一般次元の場合
 - 等積中心アファイン閉曲線のなす空間を考える
 - 円周の微分同相群が作用する
 - 平面曲線, 空間曲線のなす空間への射影が定まる
 - 上の作用に関して同変となる

等積中心アファイン曲線の定義

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

定義

I : 区間

$n = 2, 3, 4, \dots$

$\gamma : I \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$: 等積中心アファイン曲線

\Updownarrow def.

$$\det \begin{pmatrix} \gamma \\ \gamma' \\ \vdots \\ \gamma^{(n-1)} \end{pmatrix} \equiv 1$$

$s \in I$ を等積中心アファイン弧長径数という

等積中心アファイン曲線の基本定理

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

$\gamma : I \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$: 等積中心アファイン曲線

$\implies \exists \kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{n-1} : I \rightarrow \mathbf{R}$ s.t.

$$\gamma^{(n)} + \kappa_1 \gamma^{(n-2)} + \kappa_2 \gamma^{(n-3)} + \dots + \kappa_{n-1} \gamma = 0$$

$i = 1, 2, \dots, n-1$ に対して κ_i を第 i 曲率という

等積中心アファイン曲線の基本定理

$\kappa_1, \kappa_2, \dots, \kappa_{n-1} : I \rightarrow \mathbf{R}$

$\implies \exists \gamma : I \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$: 第 i 曲率が κ_i の等積中心アファイン曲線

原点を固定する等積アファイン変換の合成を除いて一意

原点を固定する等積アファイン変換:

- $SL(n, \mathbf{R})$ の元を掛けること
- 等積中心アファイン変換という

例

定曲率等積中心アフィン平面曲線

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

等積中心アフィン平面曲線を考える
第1曲率を等積中心アフィン曲率という

例 (定曲率等積中心アフィン平面曲線)

$\gamma: I \rightarrow \mathbf{R}^2 \setminus \{0\}$: 等積中心アフィン平面曲線

κ : 等積中心アフィン曲率

○ $\kappa \equiv 0$ のとき γ は直線の一部

$$\gamma(s) = (a + bs, c + ds) \quad (a, b, c, d \in \mathbf{R}, ad - bc = 1)$$

○ κ が正の定数のとき γ は楕円の一部

$$\gamma(s) = \left(a \cos \frac{s}{ab}, b \sin \frac{s}{ab} \right) \quad (a, b > 0) \quad \left(\kappa = \frac{1}{a^2 b^2} \right)$$

○ κ が負の定数のとき γ は双曲線の一部

記号の準備

等積中心アファイン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アファイン閉曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

- 周期 2π の等積中心アファイン曲線を考える
等積中心アファイン閉曲線という

- $S^1 := \mathbf{R}/2\pi\mathbf{Z}$ (円周)

- $\mathcal{M}_n: \mathbf{R}^n \setminus \{0\}$ 内の等積中心アファイン閉曲線全体

$$\mathcal{M}_n = \left\{ \gamma : S^1 \rightarrow \mathbf{R}^n \setminus \{0\} \mid \det \begin{pmatrix} \gamma \\ \gamma' \\ \vdots \\ \gamma^{(n-1)} \end{pmatrix} \equiv 1 \right\}$$

- $\mathcal{M}_n/\mathrm{SL}(n, \mathbf{R})$: $\mathbf{R}^n \setminus \{0\}$ 内の等積中心アファイン閉曲線の合同類全体

- $\mathrm{Diff}(S^1)$: 向きを保つ S^1 の微分同相写像全体からなる群

$$\mathrm{Diff}(S^1) = \left\{ g : S^1 \rightarrow S^1 \mid \begin{array}{l} g \text{ は微分同相写像,} \\ \forall s \in S^1, g'(s) > 0 \end{array} \right\}$$

作用の定義

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン閉曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

$$\gamma \in \mathcal{M}_n$$

$$g \in \text{Diff}(S^1)$$

$$\tilde{\gamma}(s) := (g'(s))^{\frac{1-n}{2}} (\gamma \circ g)(s) \quad (s \in S^1)$$

命題

上の式は $\text{Diff}(S^1)$ の $\mathcal{M}_n, \mathcal{M}_n/\text{SL}(n, \mathbf{R})$ への作用を定める

証明

$k = 0, 1, 2, \dots, n-1$ とすると

$$\tilde{\gamma}^{(k)} = (g')^{\frac{1-n}{2}+k} (\gamma^{(k)} \circ g) + \dots$$

また

$$\sum_{k=0}^{n-1} \left(\frac{1-n}{2} + k \right) = 0$$

記号の準備

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

- $\text{Diff}(S^1)$ の \mathcal{M}_n への作用を考える

$$\mathcal{M}_n \ni \gamma \mapsto \tilde{\gamma} = \gamma \cdot g \in \mathcal{M}_n \quad (g \in \text{Diff}(S^1))$$

- 曲率の変換則を求めたい

- $\alpha := \frac{1-n}{2}$

- $h := \frac{g''}{g'}$

- 単に

$$\tilde{\gamma} = (g')^\alpha \gamma$$

などと書く

- h, h', h'', \dots を独立変数とみなす
- $h^{(k)}$ の次数を $(k+1)$ とする
- h, h', h'', \dots の多項式 P の重み付き次数が定められる
- $\deg_w P$ と表す

曲線の微分の変換則

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

補題

$k = 1, 2, \dots, n$ とすると

$$\tilde{\gamma}^{(k)} = \sum_{l=0}^{k-1} P_{k,l} \tilde{\gamma}^{(l)} + (g')^{\alpha+k} \gamma^{(k)}$$

ただし $P_{k,l}$ は $\deg_w P_{k,l} = k - l$ の h, h', h'', \dots の同次多項式
更に $P_{k,l}$ に対する漸化式を求めることができる

例 ($P_{1,0}$)

$\tilde{\gamma} = (g')^{\alpha} \gamma$ より

$$\tilde{\gamma}' = \alpha h \tilde{\gamma} + (g')^{\alpha+1} \gamma'$$

よって

$$P_{1,0} = \alpha h$$

曲率の変換則

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

定理

$i = 1, 2, \dots, n-1$

κ_i : γ の第 i 曲率, $\tilde{\kappa}_i$: $\tilde{\gamma}$ の第 i 曲率

$l = 0, 1, 2, \dots, n-3$ のとき

$$\tilde{\kappa}_{n-l-1} = (g')^{n-l} \kappa_{n-l-1} - P_{n,l} + \sum_{k=l+1}^{n-2} (g')^{n-k} \kappa_{n-k-1} P_{k,l}$$

また

$$\tilde{\kappa}_1 = (g')^2 \kappa_1 + \frac{n(n^2 - 1)}{12} S(g)$$

ただし $S(g)$ は g の Schwarz 微分:

$$S(g) = \left(\frac{g''}{g'} \right)' - \frac{1}{2} \left(\frac{g''}{g'} \right)^2 = h' - \frac{1}{2} h^2$$

同変射影

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

- $n = 3, 4, 5 \dots$
 - 第1曲率の変換則に注目する
 - 第2曲率～第 $(n-1)$ 曲率を忘れる
 - 第1曲率をスケール変換する
 - M_n の軌道から M_2 の軌道への射影を考えることができる
- $n = 4, 5, 6 \dots$
 - 第1曲率, 第2曲率の変換則に注目する
 - 第3曲率～第 $(n-1)$ 曲率を忘れる
 - 第1曲率, 第2曲率をスケール変換する
 - M_n の軌道から M_3 の軌道への射影を考えることができる

定理

上の2種類の射影は $\text{Diff}(S^1)$ の作用に関して同変

等積中心アフィン閉曲線のなす空間の間の同変射影

藤岡敦

内容

序

等積中心アフィン曲線

円周の微分同相群の作用

変換則と同変射影

ご清聴ありがとうございました